

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。</li> <li>社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。</li> <li>地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。</li> </ul>				
営業時間		13 時 30 分 から	18 時 0 分 まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容						
支援方法		個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 食具、筆記具等生活で使用する物の練習		健康的な生活を送るための基本的な生活習慣・良いルーティンを知る活動 身だしなみや清潔保持に関する知識習得のための活動 スマートキッズとして他機関との関わりや生活場面での対応の練習(課外活動)		
	運動・感覚	身体全体の機能向上のための粗大運動(例:ハードル、サーキット運動等)の課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題		模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等)		
	認知・行動	物の概念(長さ・大きさ等)の獲得に関わる課題 数字の理解や計算の習得に関わる課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等)		数字の理解に関わる活動(全部でいくつ?、数字当てゲーム、ビンゴゲーム等) 金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 興味・関心の幅を広げるための活動(日本の文化に親しむ(書初め・正月遊び等))		
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等)		
	人間関係・社会性	集団への参加や集団での指示理解のための課題 集団生活におけるマナーに関する課題 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題		自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) 注意・集中を目的とした活動(30秒チャレンジ、落とさず進めるかな等) 複数の利用者同士の適切な関わり方の理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)		
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 家族の就労等の預かりニーズに対応するために、当事業所を利用することで、課題に取り組む、家庭でも同様に対応が出来るように繰り返し支援をしていく。		移行支援	本事業所以外でも同様に取り組めるように支援の方法を共有する。 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。	
地域支援・地域連携		各種関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 関係機関がそれぞれで得られた情報を共有すると共に役割分担を行い、当事業所のできる支援について明確に示し、利用者ひいては家族にとってのQOL向上のための支援や将来に向けた対策について提案する。		職員の質の向上	経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。	
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(昼食購入、おやつ購入等)、調理活動(パフェ、フルーツポンチ等)、保護者会、季節行事(ハロウィン、クリスマス等)				